



TITLE:

四月の天象

AUTHOR(S):

---

CITATION:

四月の天象. 星 1930, 4-5: 34-36

ISSUE DATE:

1930-05-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/169002>

RIGHT:

## 四 月 の 天 象

### 太 陽

日	赤 經	赤 緯	視 直 經	星 座
1	0時40分34秒	北 4度22分	32分 3秒	う を
11	1時17分 7秒	8度 9分	31分58秒	う を
21	1時54分 6秒	11度42分	31分52秒	ひつじ
(31)	2時31分50秒	14度56分	31分47秒	ひつじ

月始め白羊宮に在るが、20 日から金牛宮に侵入する。29 日曉に日食があるけれ共、日本からは見えす、僅かに千島列島の北部からは極く微少な部分食が日出の時に、見えるか見えないかと言ふ程度で、主として北米大陸及び其の兩岸の兩大洋でのみ見る事が出来る。

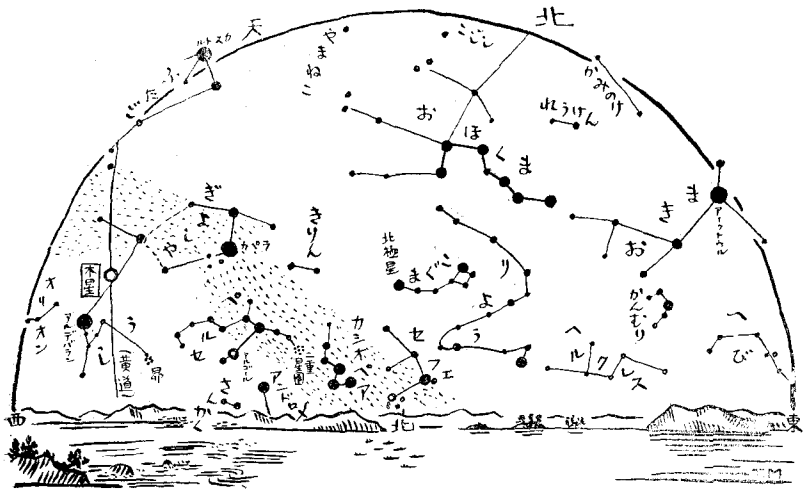
### 月

月 の 相	時 刻	視 直 經	星 座
上 弦	6日午後8時24分54秒	32分14秒	ふたご
満 月	13日午後2時48分30秒	31分58秒	をとめ
下 弦	21日午前7時 8分30秒	29分34秒	や ぎ
新 月	29日午前4時 8分24秒	31分24秒	ひつじ
近地点通過	9日午後8時12分	32分31秒	し し
遠地点通過	21日午後9時54分	29分33秒	や ぎ

月の遊星歴訪は、先づ4日午前11時に木星に追ひ付く事から始まる。次は9日午後9時に天王星に出合ふのであつて、海王星の北側を通過する19日午後6時土星と並び、26日午前6時に火星と出合ふ。27日午前5時に天王星と出合つて、僅か南側を通り過ぎる。30日午後6時に水星に追ひつき、同日午後8時に金星と出合つて、歴訪を終る。

### 月 蝕

13日午後2時21分より月食始まり、同2時58分に食甚、同3時36分に食終る。但し我國からは見えない。



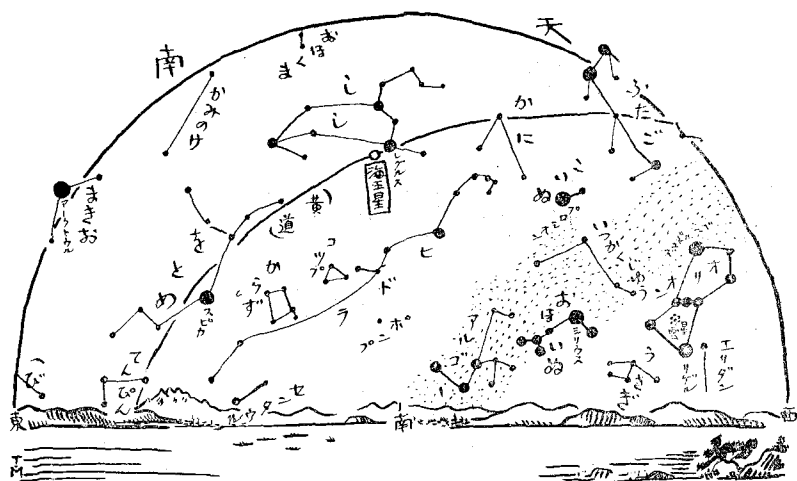
### 恒 星 界

花吹雪に包まれた山寺や、蛸蝶舞ふ菜の花畑、さては大空に囀る雲雀等、凡ては春の暖かさの中に夢の様に展開する。

のどかな感じ、それは地上ばかりでない。「オリオン」が西に低く、淡い光を投げて静かに沈むと、臍にかすむ全天は、柔かな光に満ちた春の星座で一ぱいとなる。

銀河は西に傾いて了つた——冬におなじみだつた「アルゴ」、  
「おほいぬ」「オリオン」等と共に——そして「おほくま」、「しし」、「うみへび」等が今や、子午線を通過してゐる；東から西へと。「セフェ」のみは西から東へと子午線を通過してゐる。凡てが北極を中心として、圓を畫いて廻つてゐるのだから。

東の空には北冠や天秤が今登つたばかり、「ヘルクレス」や、「へび」はやつと、現れ始めてゐる。「しし」のあとには「まきを」と「おとめ」が續いてゐる、北斗のあとには「りよう」が從つて、上つて来る。其の代り、「セフェ」に並んで、「カシオペヤ」、「ペルセ」「うし」等が地下へと急ぐ。斯くて星座の廻りも、全く春の歩調である。



## 遊 星 界

**水 星** 1日に太陽と外合、故に観望は下旬から。勿論宵の星であつて、22日午後7時に金星と2度半を保つて並び、以後共に相並んで順行し、月末まで殆んど離れない。殊に27日には東方最大離角20度となり、観望は好都合。プレヤデスの近くに、此等兩遊星が並んだ景色は是非見落さぬやう。30日には月に掩蔽される。水星の視直径約8秒、光度零等。

**金 星** 宵の星。月始めは「うを」座東端に在り、順行して20日以後は水星と並んで進む。光度負3等半。視直径10秒。

**火 星** 曉の星として光度2等で、「みづがめ」の東端に輝き、順行を續けて月末には「うを」座44星に近い。視直径4秒半。

**木 星** 宵の星。「うし」座中央に近い。光度負1等半。視直径32秒。

**土 星** 夜半頃に東天に登る。「いて」座中央にあり、22日に停留の後には逆行となる。光度正半等級。視直径15秒。

**天王星** 1日に太陽と合となり、以後曉の空に廻る。今年中は観望不能。

**海王星** レグルスに向つて逆行中。光度8等。視直径2秒半。